

## 委員会だより

<1月7日(日) 11名出席>

### 【1】財務報告：01年1月度決算報告( )内:01年度年間予算

	00°収入累計	00°支出累計	収支差額
一般会計	1,806,233 6,073,380)	599,375 (5,297,000)	1,206,858 (776,380)
建設会計	496,478 (1,876,674)	159,000 (1,817,000)	337,478 (59,674)
愛の献金	425,513 (617,864)	60,000 (320,000)	365,513 (297,864)
信徒会計	244,657 (744,520)	30,000 (510,000)	214,657 (234,520)

#### ▶特記事項:

- 一般会計: 教育養成費 聖体奉仕者講習会4,000円支出(4名参加)
- 建設会計: 特別献金20,000円(結婚式謝礼を組入れ) 漏電修理で159,000円支出
- 愛の献金: 定外献金でエルサルバドル地震救援献金20,000円を支出 四旬節献金40,000円を送金済(献金: 別途呼び掛け)

### 【2】議事内容:

#### ◎ご復活準備:

- 赦しの秘跡:4月1日(鶴飼神父)
- 聖週間のごミサ: 午後7時開始、鶴飼神父様御担当。
- 大掃除:4月14日午前10時~
- ご復活ミサ:4月15日午前10時~
- パーティ:予算は5万円(卵代込み) 飲み物は壮年会負担で検討 食べ物については婦人会に一任する。



#### ◎キッチン関係工事: シンクの交換、配管修理、.....いろいろなケースで見積りをとって見る。

#### ◎第5地区宣教委員会報告: 小野寺さんより「湘南キリスト教セミナー」の準備会議報告

- 次回のテーマは次の4つのカテゴリから検討中: 諸宗教との対話 現代のキリスト教 人間としての行き方と死、倫理
- キリスト教作家の話

テーマは7~8月くらいまでにはっきりさせる。若い世代を引きつけるテーマが望まれている。

- 中和田教会に対しても中和田教会で運営出来る企画を要請されているが、会場の提供が出来ないので、他教会主催企画に全面協力の形で続けたい。
- 次回の担当は大船教会

#### ◎什器台帳の作成:

- 祭儀・備品、厨房、放送設備、冷暖房、寝具などの分類で、甲斐さんがリストを作成済み。
- 調査は甲斐さん中心で行うが、厨房・寝具:婦人会に調査をお願い(バザー用器具を含める、食器は消耗品なので対象から除く)
- 祭儀・備品:位田さん、萩原さん、婦人会の典礼係の方をお願いすることとした。

#### ◎聖歌の集い(阿部さん):

- 5月28日午後2時から山手教会で開催の旨決定。
- 参加の為に、次の参加費の支払が必要だが、前者は教会から、後者は個人で負担することとする。 1)団体基礎費:10人前後ですとすれば3000円くらい 2)参加費:500円/人

#### ◎庭の手入れをしている方々より:

- U字溝:ベニヤでふたしているが危ない。コンクリート(850円位x40枚)に換える方向で検討(福島さん)。
- 壮年会に、庭整備の手伝いをお願いしたい。

## 壮年会だより

<3月18日(日) 10名出席>



### ◎委員会報告(3月度)

- 聖週間について
- 四旬節の献金・献金の気持ちを大切にすため、ご聖堂の献金箱に掲示をする。
- 赦しの秘跡、聖週間、大掃除、ご復活の時間の報告。
- ご復活の卵、パーティの飲み物は壮年会の負担、料理は婦人会が担当。
- 第五地区宣教委員会報告
- 講師、テーマについて、希望があれば出してほしい、7月~8月にまとめて提出したい。

### ◎議案

- ご復活のパーティ飲み物の件・クリスマス約9,500円・全員了解
- 4月の聖書朗読: 4/8 清水さん 4/29日 七浦さん

### ◎その他

- 今回 ブ・チコンさんが初めて出席されました、話も弾み、大変良かった。
- 毎年6月に行われる、町内会の大掃除は位田さんが出していました、今年は壮年がお手伝する。(日時が決まったら連絡網で流す)
- ハイキング・年間計画では4月の予定であるが、5月に行いたい。
- 先唱者について: 現在、萩原さんが担当しているが、なるべく多くの方が出来ると良い。検討していく。

## 婦人会だより

<3月18日(日) 33名出席>



### ◎委員会報告(会長より)

#### ◎婦人会報告事項

- インド地震災害のお見舞金2万円をカリタスジャパンへ送金しました。
- 東京の岡田様という方が不用衣料品を送って下さいました。バザーの際の販売に役立てます。

#### ◎討議事項

- 復活祭のパーティーについて 婦人会では主食になるものを中心に用意したいと思っておりますので、その他自主的に持ち寄ってくださる方のご協力をお願いします。 当日朝、早めに来てお手伝い頂ければ助かります。
- バザーについて 〃バザーの為の作業日を月に2回、第1、第3木曜日に設けることが決まりました。時間は午後1~4時迄。 〃例年どおり自主作品を一人2点ずつ提出して下さるようお願いいたします。
- 遠足について 5月13日(日)にマリア山修道院(静岡県函南町)を訪問することになりました。案内の掲示をご覧になり参加申し込み下さい。日曜日ですから、平素お勤めの方やお子様連れの方も是非ご参加下さい。

#### ◎お知らせ

- アンケートの集計結果ができました。沢山の方のご協力ありがとうございました。今後の活動の参考にしていきたいと思っております。 掲示板的の下あたりに置きますので、必要な方はお取りください。
- 大水チヨノ様が転出されました。
- 松下久美様が男児を出産されました。

次回例会は4月22日(日)、次回当番はA地区です。

## 広報 なかわだ 第268号

### 今月の予定

委員会	4月 8日
枝の主日	4月 8日
復活の主日	4月 15日
壮年会、婦人会	4月 22日
サロン	4月 8日
レジオ	4月13,20,27日



2001年4月号

中和田カトリック教会  
広報委員会発行  
泉区中田北1丁目9-1  
Tel. (045) 803-6141  
平成13年4月1日



2001年1月(年の『はじめ』)②



山崎 正俊

イエズスさまの幼い時代のことが、聖書で知らされます。ここでは、ヨゼフさまとマリアさまが、イエズスさまのために、いろいろな御苦勞をなさったことが教えられています。この中和田教会は、神の母・聖マリアさまを、保護者としていただいています。カトリック教会にいる者として、いっばん大切なお方を模範とすることを求められているのです。モンフォールの聖ルドビコ・マリア神父の重大な書物を見ては、マリアさまがその御子イエズスさまの救世のみわざに、どんなに御身近かにおいて、すべてを捧げてお尽くしになったかを思い出すようにお考えになったお方があったからです。教会は繰り返して、御父は、マリアさまをとおして、何はにおいても、御父のお定めに従わなければならないことを、私たちに教えておられますから、マリアさまは被造物ですから、そんな重大なことが出来るはずはないなどと、その信仰から、神の母であることを、話すことは必要でないという人を見ている。信徒たちも、マリアさまの云われた「御旨がおこなわれますように」というお言葉のことを忘れさせようとしているのでもないのに、いわゆる「マリア信心のことを思い違っている」のではないかと、私は思いちがえたほどでした。マリアさまをぬけおとしたキリスト教会はあり得ない。幼いイエズスさまは、ヨゼフさまのお仕事をお手伝いしながら、マリアさまのあとを歩んでおられたはずではないかと私は思っていたからです。あの当時も男中心の社会のようでしたからでしょうか、社会的に表面では女が下に見られており、女性というより母性の役割が、より低く見られていました。それは、まわりからの差別的な見方があったり、男性の保護がなければ、その秩序が乱れると信じられ、男性の役割が重く見られすぎているキライがありました。(この頃、女性差別はまだ捨てきれないところがあることに、そのまちがいにやっとながつかれはじめられ、私なんかもやっとなが、声をあげる勇気が出て来るし、女性たちの自覚がなさすぎる、自分の重大な能力を気付かなさすぎるという一社会が力《暴力》のまえに権力のまえにヒレフすという悪習の中に沈んでいるのに、気付かなさすぎたのです。だから、幼い私が、その力のなさに、思い至らないままに、母の腕力を恐れ嫌うことしかできず、何が原因で母はあんなに私を恐れさせ苦しめるのかわからないままに、家庭を逃げることのできる日を探していたのでしょうか。)私にとっては、そこは逃げ出すべきところになったのです。

だから、マリアさまがイエズスさまの身近かにいての模範は、驚くべき現実であったのです。82歳になって、やっとなが目が開いたのです。あのパウラ・モンタルさんの、痛めつけられている幼児を暖かく抱き慰め、共に祈り励ましてくださる姿に感動することができたのです。「泣く人と共に泣き、喜ぶ人と共に喜び祈る」のがまことの愛です。イエズス様の愛の極みは、まことにここにあったのです。

(2001.1.14)

## 私の読書体験

# — 上野厚著「都市型放火犯罪」を読む —

小野寺 功

最近手にして、とても啓発された一冊の本があります。

それは、当教会のメンバーでもあられる上野厚さんの最近著で、「都市型放火犯罪—放火犯罪心理分析入門」という異色の本です。

この本は、昨年8月に立花書房から出版され、専門筋から高い評価を得たものですが、毎日新聞をはじめ、朝日や神奈川新聞でも広く紹介されましたので、あるいはすでにご存知かも知れません。

私はかねてから悪の問題に関心があり、何の得にもならないのに、「人はなぜ放火に走るのか」という疑問を抱いておりました。それでさっそく読んでみたのですが、私のような素人にも大変興味深く、二度読み返しました。

著者の上野厚さんは、現在、神奈川県警科学捜査研究所心理学科長の要職にあり、放火犯罪の研究では、日本の第一人者といわれています。今度の著作は、今までの長期にわたる研究の集大成といべきもので、実際に扱った28件の事例を詳細に分析して、私たちにもわかりやすく解説して下さっています。

目次を見ますと、(1)農村型から都市型へ (2)放火犯罪者の人的特性 (3)放火犯罪の形態的特性 (4)犯行動機 (5)行動的特性 (6)「心理的プロファイリングのために」など、全体で六部構成になっています。

上野さんの説によると、従来農村型といわれる放火犯罪が都市で増加してきたのは、高度経済成長以降ということ。放火は、マッチ一本で幼児から年寄りまでできる幅広い犯罪ですが、一体なぜこんな事件が起きるのでしょうか。

動機として第一に挙げられるのは不満の発散で、人間関係のトラブルから生ずるケースが非常に多いようです。そこから、社会の高度化、複雑化の中で、温かい人間関係をどう築いていくかが大切なことがわかります。

動機の第二に、自己顕示欲による犯行というのがあり、実に意外でした。しかし、これこそぬきさしならない罪の根源で、日頃のストレスや無力性の補償行為として、放火によって人を驚かし、一時的でも相手を支配下に置こうとする行為だと分析されています。以前、消防団員が自ら放火し、真っ先に駆けつけて、勇ましく消火にあたったという事例を思い出します。

現代の犯罪が、「食うため」の犯罪から「自尊心」レベルの動機に変わってきていることを予想させます。また、動機についてこの本を読んで、深い印象を受けた言葉があります。それは、多くの者が異口同音にのべている「ストレスがたまっていた。火が燃え上がるのを見て気分がスーッとした」という告白です。これをみると、全体の半数が飲酒していることと並んで、火は特別の力をもっているかのようです。

火は、聖書の世界では、魂の浄化を意味するものとして重要な意味をもっています。私は沢山の不幸な事例研究を読みながら、放火心理の中に、深層の領域で「聖変化」への救いを求める、心の叫びを聞く思いがしました。

最後に、この研究書には独創的な点が二点あると思います。一つは、犯行地点と居住地点の距離が約500メートル以内が多いと割り出されたこと。またもう一つは、第6章で、事件の類型的特性から犯人を推定する「プロファイリング」という手法を開発されたことなどですが、あまりに専門的なので、立ち入らないことにします。

私の全く知らない領域で、人間について深く考えさせられたことを、改めて著者に深く感謝致します。

## アンケートを考察する

婦人会会長 岩崎 好愛

この度新しい年度がスタートするにあたり、会員の皆様が婦人会の活動に対しどのような意識を持ち、どのように考えておられるかを、「アンケート」という形をとおして率直に表現していただきたいと思い、初めての試みとしてアンケートを実施させていただきました。

回収率は46%でしたが、これは主日のミサによく来ておられる方の割合に近い数字ではないかと思えます。従って、それらの方々がほぼ全員提出して下さったことになるのではないかと、その積極的なご協力は大変うれしく、また先行きの良い見通しを示すものではないかと思いました。しかし、表わされた年齢構成をみますと、60歳以上が68%(50歳以上になると、なんと93%)を占め、40歳代などは0人という数字なのです。実際見まわしても、その年代の方はほとんど見かけることがありません。婦人会の「高齢化」はもうすでに現実なのです。

このことはもう「これまではこうしてきたから」という経験が、そのままでは通用しなくなってきていることを示します。特にバザーにおける諸活動でそれが言えるのではないのでしょうか。もう重い大鍋を持ち上げるのは危険です。目が悪くて手芸の能率もあがりません。体のあちこちにも故障が生じて思うように参加ができません。老親の介護も引き受けなければならない年代でもあります。今やいろんなことのあり方を少しずつ変えていく時期にきていることを感じます。一つの提案として、「これからは婦人会としてではなく、男性の方もいっしょに全体がひとつになって…」というご意見もあり、一つの考え方だと思いました。バザーの作業日に男性の方も来られて、木工作品に精を出す…といった光景を想像いたしました。

行事(遠足、バザー、お手伝いなど)に関する解答では、ほとんどの方が参加、協力したい旨の意向を示しておられ、これまでに培われてきた中和田教会の家庭的、友好的雰囲気を感じとられますが、いちばんの切実な問題は役員選出とそのあり方ようです。現在、四つの地域ブロックから毎年2名づつの役員を出していますが、なかなかスムーズに決まりません。理由の一つには、会長をその中から出さなくてはならないということもあるようです。

この役員選出について、アンケートでは「会長は全体から選ぶ」という意見(26%)や、「役員は各地区1名でいいのでは」という意見(32%)にも〇がつけました。これらも参考にしながら、年度末の次期役員決めの際は慎重に皆様と検討したいと思えます。

自由記述の方は、たくさんの方がいろいろと書いてくださいました。お一人お一人の思いを深く感じ取りながら拝見しました。「高齢のため」「子育てが大変で」という遠慮がちな記述にまじって、「信仰者の集まりとは思えない」とか「傷つくこともあった」といった心の傷を負っておられる方もそれを率直に書いてくださり、「私たちにとって婦人会とは」という基本に一石を投じてくださったように感じました。

弱さをもった人間の集まりです。イエズス様が教えておられる「愛」と「ゆるし」をいつも心に留めながら、互いを生かし、支えることを第一にした会として、これからも人々と教会のために活動が続くことを望みます。

## お知らせ

### 転出

◆森脇信行様ご一家  
3年間パリの日本人学校に奉職されるため渡仏されます。  
新住所: 21 Avenue du Centre,  
78180 Montigny-le-Bretonneux, FRANCE

◆大水チヨノ様  
転出先は未定

### お祝い

松下久美様 男児ご出産



### ミサ当番表 (2001年4, 5月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
4/1	四旬節第五主日	壮年会	岩 淵
4/8	受難の(枝の)主日	青年会	森 田
4/15	復活の主日	婦人会A地区	保 科
4/22	復活節第二主日	壮年会	岩 淵
4/29	復活節第三主日	婦人会A地区	森 田
5/6	復活節第四主日	壮年会	保 科
5/13	復活節第五主日	青年会	岩 淵
5/20	復活節第六主日	婦人会B地区	森 田
5/27	主の昇天	壮年会	保 科

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は  
典礼委員(萩原氏: TEL. 802-6258)迄お申し出下さい。